

①学校名:	北海道科学大学 大学(私立)	②所在地:	北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1		
③課程名:	薬剤師キャリアアッププログラム	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2023/4/1
⑥責任者:	北海道科学大学学長 川上 敬	⑦定員:	10	⑧期間:	1年
⑨申請する課程の目的・概要:	<p>厚生労働省に設置された「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」のとりまとめ(令和3年6月)においては、少子化の進行により将来的に薬剤師の供給が需要を上回り薬剤師が過剰となること等の課題があることが指摘されている。これらを踏まえ、医療の高度化、多職種連携の推進、医師の働き方改革により、薬剤師に求められる役割が更に増大していく中において、社会環境の変化を見据えて求められる資質・能力を身に付けた質の高い薬剤師の養成が求められており、臨床現場で活躍する薬剤師にもより一層のキャリアアップが必要とされている。</p> <p>そこで、本プログラムは、医療の高度化、多職種連携の推進、求められる役割の増大に対応可能な薬剤師を養成するため、課題発見・解決能力及び、多職種と協働して患者の適切な薬学的管理を実践する能力を身につけ、スペシャリストを目指す薬剤師のキャリアアップを目的としている。また、課題発見・解決能力及び薬物治療の実践的能力、コミュニケーション能力は、2024年度に改訂される薬学教育モデルコアカリキュラムにも、薬剤師として求められる基本的な資質・能力として規定されており、今後、社会に求められる薬剤師には必須の資質・能力である。</p>				
⑩10テーマへの該当	7	⑪履修資格:	日本国の薬剤師免許を有するもの、インターネットを使用できる環境にあり、基本的なPCソフトが使用できる者、本学の指定日にスクリーニングができる者		
⑫対象とする職業の種類:	薬剤師				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・各種専門・認定薬剤師の取得に必要な事項に関する知識 ・薬剤師を取り巻く現状、今後の薬剤師のあるべき姿、生涯学習の必要性に関する知識 ・臨床研究に実施に必要な事項に関する知識 ・臨床研究の技能、態度 ・臨床推論の技能 ・代表的な疾患に関する病態、薬物治療に関する知識 ・症例検討に参加する技能、態度		(得られる能力) ・生涯研鑽の能力 ・コミュニケーション能力 ・課題発見、解決能力 ・薬物治療の実践的能力		

⑭教育課程:	<p>本プログラムは、①薬剤師としての生涯研鑽の必要性を認識したうえで、今後の薬剤師に求められる資質のうち、②コミュニケーション能力、③課題発見解決能力、④薬物治療の実践的能力を身につけることを目的としている。</p> <p>①「アップデート講座」の受講により、現在の薬剤師を取り巻く現状及び、今後の薬剤師のあるべき姿、求められる資質・能力について学び、薬剤師にとっての生涯研鑽の必要性と、どのように生涯研鑽を実施していくべきかを認識し、実行に移してもらう。</p> <p>②「臨床推論講座」及び「スキルアップ講座」において、症例検討を行う際、少人数でグループディスカッションを行い、自身の意見の論理的に他者に伝えるトレーニングを行うことで、薬剤師としてのコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>③「臨床推論講座」にて、患者が訴える主訴や症状、検査値をもとに、薬物療法の効果や副作用を評価し、他の医療従事者への情報提供に結びつける思考プロセスを学び、薬物療法の課題を発見し、解消に結びつける方策を探るための臨床推論スキルを身につける。また、「臨床研究入門講座」では、臨床研究に必要な課題発見、研究計画策定、研究手法、結果の解析方法を学び、臨床研究を自身で実践し、患者の課題を発見、解決につなげるための研究能力を身につける。これらの講座を通して、患者の課題を発見し、解決する能力を身につける。</p> <p>④「病態・治療講座」にて、代表的な疾患に関する病態・治療の基礎知識、最新の治療の状況を実務家から学び、幅広い知識を身に付ける。また、「スキルアップ講座」にて、症例検討を通じて各種疾患治療へ薬剤師が関わる方法を理解するとともに、実習や演習を通して、関わり方に関するスキルを身に付ける。これらの講座及び、②のコミュニケーション能力、③の課題発見、解決能力と合わせ薬物治療の実践的能力の養成につなげる。</p>						
⑮修了要件(修了授業時数等):	必修32時間、選択必修(病態・治療講座3講座(9時間)以上、スキルアップ講座1講座(2時間)以上)計11時間以上の講座を受講後、口頭試問に合格						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書、北海道科学大学薬剤師キャリアアップ修了証						
⑰総授業時数:	60	⑱要件該当授業時数:	58.5	該当要件	双方向、実務家	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数:	98%
⑳成績評価の方法:	出席状況、授業の参加度、課題提出、最終口頭試問の結果より総合的に判断する。						
㉑自己点検・評価の方法:	北海道科学大学は学校教育法第109条第1項に定める評価を実施している。加えて、本プログラムでは、本学「薬剤師生涯学習センター運営委員会」の委員でもある北海道薬剤師会役員及び北海道病院薬剤師会役員より、職能団体としての意見を定期的に収集し、本講座の担当教員、実務家教員が中心となって、修了者の状況にもとづきプログラムの点検、評価を実施する。点検、評価結果についてはホームページで公表する。						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対するアンケートや所属職場からの意見聴取を実施し、受講前後の評価を実施する。また、受講者の認定・専門薬剤師の取得状況に向けた取り組み状況を調査することで効果を検証する。						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成)北海道薬剤師会役員、北海道病院薬剤師会役員及び本講座を担当する実務家からの意見を定期的に収集し、本講座の担当教員が中心となって教育課程の編成や評価を実施する。</p> <p>(自己点検・評価)北海道薬剤師会役員及び北海道病院薬剤師会役員より、職能団体としての意見を定期的に収集し、本講座の担当教員が中心となってプログラムの点検、評価を実施する。</p>						
㉔社会人が受講しやすい工夫:	週末、休日の開講、サテライトキャンパスの活用、e-learningの活用						
㉕ホームページ:	(URL) <a href="https://www.hus.ac.jp/">https://www.hus.ac.jp/</a>						

事務担当者名:	渡部 俊也	所属部署:	入試・地域連携部 地域連携広報課				
連絡先:	(電話番号)	011-676-8664					
	(E-mail)	chiiki@hus.ac.jp					

\* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

\* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。